

悠久

～タイトル由来～
「果てしなく長く続いてほしい」という想いから、これまでもこれからも
福祉事業に携わっていくという、強い信念と未来への期待を込めています。

広報紙 悠久

第11号 平成28年 8月発行

新潟県村上市上の山2番17号

TEL 0254(50)2222

社会福祉法人 村上岩船福祉会

URL: <http://www.murakamiwafune.or.jp/>



※本紙の写真・文章については本人の同意を得ています。



ご挨拶

理事

遠山

康弘

地域の皆様には、日頃より社会福祉法人村上岩船福祉会
に対しご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、さる4月14日熊本地方を震源とする地震は、老人福祉
施設等にも甚大な被害をもたらしました。1,2,3,4施設中
4,4,7施設で損傷があり、11施設の入所者は他の施設に移ら
ざるを得なくなったそうです。

幸いにして、この村上市・関川村地域は、昭和42年の羽越水
害以後はほとんど大きな災害もなく、私どもは平穩に過ごし
て参りました。しかし、再び大きな災害が突然起こったら、職
員はどう行動するだろうか、連携して利用者を安全に避難さ
せることが出来るのだろうか、そのような体制は瞬時に機能
するのだろうか、などと少々不安になりました。

この度のことは、自分の地域は安全だから大丈夫と他人事
として考えず、各施設では職員の災害に対する意識の強化と
非常時のマニュアル等の再整備を図り、法人全体では老朽化
が進んだ建物や設備の危険性を含めた自然災害を想定した
危機管理体制、いわゆる災害への備えについて、今一度見直す
機会を与えてくれたと感じております。

また、毎年のように世間で問題となっている介護職員によ
る利用者への虐待についても、当法人には決してそのようなこ
とはないと確信しておりますが、気付かぬままに利用者を傷
つけるような不適切な言葉を発していないかを職員同士で相
互に確認し、指摘し合える体制が整っているか、その上で資質
向上のための研修や教育が計画的に行われているか、なども
この機会に確認したいと考えます。

利用者の皆様やご家族、そして職員の一人ひとりの安心と
笑顔のためにはなければならないことを確実に実行し、これ
からも地域の皆様に信頼され望まれる法人を目指して私ど
も役員は、誠心誠意努力して参る所存でございます。
どうぞ、これからも、変わらぬご支援・ご協力を心よりお願い
申し上げます。



障害者支援施設浦田の里 (入所50名)
 施設入所支援(50名)
 短期入所(児童・者)(6名)
 生活介護(40名)
 相談支援事業
障害福祉サービス事業所浦田の里(通所) (40名)
 生活介護(20名)
 就労継続支援(B型)(20名)
 村上市岩船231-1
 TEL 0254-53-1803
あかね寮 (7名)
 村上市大久10-6
いいのホーム (5名)
 村上市飯野3-15-49
みなみホーム (2名)
 村上市南町2-7-57

社会福祉法人 村上岩船福祉会

基本理念
一人ひとりの安心と笑顔のために



特別養護老人ホームゆり花園 (長期50名短期20名)
 在宅介護支援センターゆり花
 村上市勝木862-10
 TEL 0254-77-2475



【従たる事業所】
障害福祉サービス事業所みどりの家朝日
 村上市鶴渡路1999-2(B型)(20名)
 TEL 0254-72-0288



特別養護老人ホーム羽衣園 (長期49名短期20名)
 地域密着型特別養護老人ホーム羽衣園(21名)
 デイサービスセンター羽衣(32名)
 居宅介護支援事業所羽衣
 在宅介護支援センター羽衣
 村上市岩沢1616
 TEL 0254-72-0055
高齢者生活福祉センターふれあい羽衣 (15名)
 村上市岩沢1622
 TEL 0254-72-6722



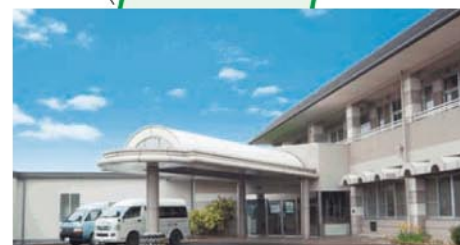
特別養護老人ホームいわくすの里 (長期80名短期20名)
 デイサービスセンターいわくすの里(30名)
 居宅介護支援事業所いわくすの里
 在宅介護支援センターいわくすの里
障害者支援施設いわくすの里
 施設入所支援(20名)
 短期入所(2名)
 生活介護(26名)
 村上市上の山2-17
 TEL 0254-50-2100
本部事務局
 TEL 0254-50-2222



【主たる事業所】
障害福祉サービス事業所みどりの家
 就労継続支援(B型)(30名)
 村上市羽黒町1-3
 TEL 0254-52-1930



特別養護老人ホームさつき園 (長期100名短期20名)
 居宅介護支援事業所さつき園
 在宅介護支援センターさつき園
 村上市北新保683-9
 TEL 0254-66-8877
認知症高齢者グループホームまつかぜ (9名)
 村上市北新保683-1
 TEL 0254-66-8882



特別養護老人ホームたかつぼ (長期70名短期20名)
 デイサービスセンターたかつぼ(27名)
 居宅介護支援事業所たかつぼ
 在宅介護支援センターたかつぼ
 村上市下鍛冶屋572-7
 TEL 0254-62-1455
認知症高齢者グループホームたかつぼ (9名)
 TEL 0254-62-1478



特別養護老人ホーム垂水の里 (長期50名短期20名)
 居宅介護支援事業所垂水の里
 在宅介護支援センター垂水の里
 関川村大字湯沢728-1
 TEL 0254-64-2322

熊本地震への義援金寄贈について

本年4月に発生しました熊本地震について、当法人では被災地の一日も早い復興を願い、役職員より義援金の寄付を募った結果439名の協力を得て、78万3300円が集まりました。この義援金は6月3日に齋藤理事長より日本赤十字社村上市地区、高橋邦芳地区長に寄贈をさせて頂きました。また、被災地の社会福祉法人、社会福祉施設の復興に役立てていただくため、法人会計より25万円を全国社会福祉協議会を通じて寄付させて頂きました。



本部事務局 次長 渡邊 千夏

みどりの家新築移転に向けて

みどりの家は傾斜地立地のため、建物に傾きが生じ、土砂災害警戒指定区域にも指定されています。また開所当時の20名から現在は約40名と倍増したことで、作業室や食堂の面積が不足し、敷地減少や送迎車輛の増加も相まって、機能不全を起している状態です。

移転先として上助測地内の神納東小学校脇の、学校用地を村上市より貸与頂き、本事業は平成27年度補正予算社会福祉施設等施設整備費補助金の内示を受けることが叶い、今年度内の竣工を目指しています。

建設工事の入札関連は未着手ですが、ここまで新築移転計画が進められたことに対し、関係各位の皆様のご協力に感謝致します。そして、特に村上市・神納東小学校・上助測集落の方々に温かいご理解を頂いたことに、厚く御礼申し上げます。

みどりの家 施設長 佐藤 三三

法人総務課の活動について

法人総務課は、今年度より本部事務局職員と施設代表者の計8名の体制となりました。今年度の重点目標としては、

- ① 社会福祉法人制度改正への取り組み
 - ② 適正な人事管理体制の構築
 - ③ 事務の合理化、業務の標準化への取り組み
- 以上の3点を掲げています。

①については今年3月に成立した社会福祉法等の一部改正への対応となります。今年の4月1日に施行となった「事業運営の透明性の向上」「地域における公益的な取組を実施する責務」等については確実に実施をしていくとともに来年4月1日に施行される「経営組織のガバナンス強化」「財務規律の強化」等については今までの法人体制から大きく変化していくことになり、ますので法人全体で共通認識をもつて取り組んでいくよう努力していきたいと考えています。

②については新たに導入した人事給与システムの活用をすすめるとともに、今後の事業運営に必要な人材の確保、そして職員が辞めることなく長く働き続けることのできる、働きやすい職場環境づくりに努めていきたいと考えます。

③については、各施設の庶務担当者会議を定期的に開催し業務の合理化・標準化を進めていきたいと考えています。

今年度は、社会福祉法人の組織や運営が大きく変わっていく中で、法人と施設との連携を大切に情報を共有しながら活動していきたいと考えています。

総務課長(本部事務局局長)

鈴木 克己

在宅サービス管理課の役割について

「介護が必要になっても住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けたい」これは誰もが望む願いです。平成21年度保健医療福祉県民意識調査では、手助けが必要となった場合にも暮らしたいとする場所は自宅が約6割となっており、入院・通院に次ぐ第3の療養の場として「在宅医療」の充実が望まれています。

在宅サービス管理課は、在宅介護支援センターを除く三つの種別のサービス担当者として、在宅サービスをマネジメントする介護支援専門員で組織しています。通所介護・短期入所・地域密着型サービスと居宅介護支援事業所を合わせた27名が構成員です。

平成28年度の重点目標は、職員自主点検、利用者満足度調査、外部評価等の結果を反映させた良質なサービスの提供や、課題の共有化と業務改善への取組です。さらに、医療依存度の高い方へのケアにおける知識の習得および技術の向上です。医療依存度が高くなっても、安心して在宅サービスを利用できるように取り組むものです。

iPadを使って主治医と情報を共有し、指示や報告が可能となるなど、医療と介護の連携も進んでいます。今後も、慢性疾患や複数の疾患を抱える方の増加など、在宅における介護ニーズは今まで以上に多様化し、医療依存度の高い方々が在宅サービスを利用する傾向が強くなるものと想定しています。

在宅サービス管理課の役割は、行政、関係機関、多職種と連携を図りながら地域を基盤として、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けたいと願う方々のニーズに応じたケアの充実、強化に取り組むことです。

在宅サービス管理課長(羽衣園 施設長)

田村 浩子

平成28年度 浦田の里はこのような取り組みでいきます

チームケアの充実

障害福祉の専門施設として、専門性を高め、チーム・グループケアを取り入れ利用者のニーズに応じた質の高いサービス提供に努めます。

連携協力

家族・ボランティア・自立支援協議会・関係機関等との連携、地域とのネットワークに努めます。

リスクマネジメント

事故防止と感染症の予防に努め、利用者が安心してサービス利用できる環境を整えます。

人材育成

多様化するニーズに対応できるように、研修会の推進し、人材育成に努めるとともに、職場の活性化を図ります。

うらた

URATA
NO
SATO

PickUp グループホーム

昨年度、「いいのホームサテライト型みなみホーム」が新潟県のトップを切つて開所しました。サテライト型とは本

共同生活を営むという趣旨を踏まえながらも、より一人暮らしに近い形態を可能とする仕組みです。実際にみなみホームでは、民間アパートの二部屋を利用して、二名の方が生活しています。それではみなみホームの生活ぶりを見てみましょう。

朝、起

床し洗濯、掃除を済ませ、出かける準備が出来る頃に起床確認の職員が浦田の里（通所）からやってきます。その後、朝食のための

のホームへ向かいます。徒歩十



田の里（通所）職員の手作りで美味しいと評判です。

朝食を食べ終え、時間を確認し、出発時間になると「行ってきます」と元氣よく、二人は公共のバスで、もう二人は送迎車両各々の事業所へと向います。



いいのホームでも昨年度、新しい入居者が加わりまし

た。他の入居者とすぐに仲良くなり「いいのホーム楽しい」と快適に過ごしていただいております。先日、休日の昼食時に「ホットプレートパーティー」を楽しみました。

さて、話をみなみホームの二人に戻しま



分形でいいのホームへ到着。余談ですが、いいのホームの朝食・夕食は浦



す。夕飯時、再びいいのホームへ向かいます。みんなと一緒に夕食を食べ、二人でお互

いの小遣い帳の記帳を行います。その後、みなみホームへ戻ります。夜間、いいのホーム宿直職員が巡回。巡回時に貴重品を職員と一緒確認し就寝が遅くならないよう努力を行っています。なぜなら二日も早く一般就労ができるようになりたいからだそうです。

もう二棟、あかね寮。今年度より宿直職員を配置し今まで以上に安心、安全に生活できる環境を整えました。あかね寮の皆さんも大変喜んでおります。

見学してみたい方、ご連絡ください。お待ちしております。

【通所 富樫】TEL 53-118003

あかね寮



みどりの家

平成28年度の取り組み

施設長 佐藤 三三

《事業方針》

ご利用者様の意思及び人格を尊重し、その人の立場に立った支援に努めると共に、住み慣れた地域で安心して働ける場所として、継続的な作業の提供と工賃水準の向上に努めます。また地域の社会資源として新規の利用者についても、受け入れ体制の設備を進めます。

《重点目標》

- ① みどりの家の移転新築
- ② みどりの家朝日のトイレの増築
- ③ 個別支援の充実
- ④ 作業調整会議の開催
- ⑤ 新潟県工賃向上計画の達成及び前年度実績を上回る工賃向上
- ⑥ 就労移行支援
- ⑦ 事故防止の強化
- ⑧ 家族・地域・関係機関との連携と地域に根ざした施設作り
- ⑨ 職員の資質向上

平成28年4月1日から 障害者差別解消法 がスタートしました！

障害者差別解消法とは

この法律では、全ての役所や会社やお店などの事業者に対して、障害のある人への、不当な差別的扱いを禁止し、また、障害のある人から、社会の中にある不便なことや手を貸してほしいことなどの要望があったとき、出来る範囲で対応すること（合理的配慮）を目的とした法律です。

今年度のみどりの家の「障害者差別解消法」に関連した具体的取り組みとして『みどりの家朝日のトイレの増築』『作業のしやすい環境作り』に重点をおき、ご利用者様により安心、快適に利用をしてもらえる施設作りを行っていきます。

みどりの家朝日のトイレの増築

みどりの家朝日では身体に障害を持つ方が増え、また障害の重い方の利用もあります。現在、トイレの場所は作業を行っている部屋から遠くご不便をおかけすることもありました。この点を改善し、ご利用者様が安心して、快適に働きやすい環境を整える為、作業の部屋から近い場所へ多目的トイレの増築を行います。

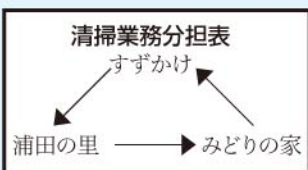


作業しやすい環境作り



住み慣れた地域で一人ひとりが生きがいを持って安心して働くことができる就労機会を提供していきたいと考えています。作業時の具体的な取り組みとして農耕作業や草取り作業時に動きの制限のあるご利用者様に対して座りながら移動できるタイヤ付きの椅子を準備するなどの道具の工夫、また、見守りや言葉掛けを細やかに行うことで作業や移動がスムーズに行うことが出来るよう配置職員を増員していきます。今後ご利用者様の個性や特性、要望に柔軟に対応していきたいと考えています。

3事業所施設外就労開始！



今年度の4月から『みどりの家』『浦田の里（通所）』『すずかけ』の3事業所で施設外就労を開始しました。作業の内容は、決められた施設に行き施設内外の清掃作業を行うというものです。みどりの家は午前中の時間『すずかけ』へ行き、施設内の清掃や施設の周りの草取り、公用車の洗車などを行っております。この新規作業は、ご利用者様の工賃向上を目的としていますが、自分達で行っていた清掃作業を他の施設に行っていたことで、みどりの家では、施設内の衛生面の強化、掃除していた時間を有効に作業に充てられるようになりました。また、今まで施設内作業を中心に参加していたご利用者様が施設外での作業に参加できる良い機会となっており、この新規作業の参加を楽しみにしているご利用者様も多く、参加時には「すずかけの掃除楽しかった。」「今日は、車洗うの頑張ってきたよ。」などの声も聞かれており、やりがいを持って意欲的に参加できる作業になっています。

平成28年度の取り組み

施設長 田巻 清美

《事業方針》

利用者一人ひとりの人権を尊重し、利用者本位・自立支援の視点に立ち、利用者が望む生活の実現を目指します。また、地域の福祉ニーズに応え、在宅生活を支援し、信頼される施設を目指します。

この事業方針の下、特に、次の3点に重点をおいて取り組んでいきたいと考えています。

① 個別支援の推進

利用者の望む生活についてアンケート調査を実施し、意向を確認します。また、個別リハビリテーションや生きがい活動、外出支援の充実を図ります。

② 地域の福祉ニーズへの積極的な対応と地域貢献

相談機能を強化し、緊急短期入所や重症心身障害児者の受け入れをはじめ、医療的ケアへの対応等を行い、在宅生活を支援します。

③ 人材の育成

①②を実践していくために、職員の個別研修計画に基づいた研修の受講や企画を進めます。また、実習生を積極的に受け入れ、福祉を担う次世代の人材を育成し、教育的機能を果たします。

活動風景を紹介します

〈利用者様の個別支援の充実に力を入れています〉

関林山関が来園



「はい、チーズ♪」
大好きなお相撲さんと
記念のツーショット!

買い物外出



イオン村上東店にて
さて、何を買おうかな?

村上特別支援学校からの招待



生徒達の素晴らしい作品を
鑑賞し、親睦を深めてきました。

外昼食弁当



たまにはお弁当も
美味しいわね♪

個別支援外出



大好きなラーメンを食べにきました。
伸びないうちに早く食べなきゃ!

習字



渾身の1枚が完成!

お誕生会



満面の笑み♪
お誕生日おめでとう!

調理実習



みんなでフレープと
ホットケーキを作りました
美味しそうでしょう♪

ボランティア募集

いわくすの里では随時ボランティアを募集しています。内容や回数等については問いませんので、まずはお気軽にお電話ください。お待ちしております。

電話:50-2100 担当:遠山・平井

平成28年度の取り組み

施設長 田巻 清美
特別養護老人ホーム(長期入所短期入所)

《事業方針》

利用者一人ひとりの生活の意向を大切に、尊厳を支えるケアを実践します。また、家庭的で温かい雰囲気づくりに努め、生活の質の向上を図るとともに、地域の社会資源として広く住民に利用され、親しまれる施設を目指します。

事業方針に基づき次の点を重点的にを行います。

① うめ棟の拡張工事により、利用者の居場所を新たに設け、生活の質の向上を図り、心に寄り添うケアを実践します。

② 静養室(個室)を新たに設置し、ターミナルケアや短期入所の緊急受け入れ等、利用者の個別ニーズに対応します。また、空床ベッドの効率的活用により地域福祉に貢献します。

③ 4月から理学療法士が配置されたことにより個別機能訓練に力を入れ、自立を支援します。

デイサービスセンター

《事業方針》

利用者の自立支援、介護予防の視点に立ち、心身機能の維持向上を図るとともに、利用者に親しまれ、楽しみながら利用できる事業所を目指します。また、介護予防・日常生活支援総合事業の対象者も一体的に受け入れ、必要なサービスを提供します。

事業方針に基づき次の点を重点的にを行います。

① 歯科衛生士が中心となり、多職種連携による専門的・効果的な口腔ケアを実施します。

② 個別ニーズによる小グループ活動を支援し、介護予防に努めます。

③ 特殊浴槽(チェアインバス)の入れ替えにより快適な入浴サービスを提供します。

特養

あかまつ さくら

和菓子作りにチャレンジ中!!



一生懸命作りました。完成!! おいしそう



村上大祭に行きました

七夕飾り



楽しい料理レクの時間です



そのままでもおいしいゼリーに... あま〜いイチゴなどをトッピング!



お花のお菓子が出来ました。



「おいしくな一れ。おいしくな一れ」



おいしくいただきました!!



レクリエーションの時間

デイサービス ショート

バスハイクへ出かけました!



達筆でしょう!!

ある日のお昼のメニューです。



真剣に献立書きなどがなっています。



6/1笹川流れまでドライブへ出かけました。船をみたり、海を眺めて楽しまれていました。



5/24車窓の景色を眺めながら二子島まで出かけました。ご利用者の皆さんはベンチでお茶、お菓子を召し上がりながら、景色を楽しまれていました。



なんと!! 花の名前は「よく咲くスマレ」



「きれいでしょう」

仲良し2人組が植えました。



介護でのお困りのことはいつでもご相談ください。住みなれた地域での生活をサポートさせていただきます。



在宅介護支援センターいわくすの里
居宅介護支援事業所いわくすの里(中山、時田、渡邊)

平成28年度 特別養護老人ホーム

【事業方針】 法人の基本理念である「一人ひとりの安心と笑顔のために」に基づき、利用者の尊厳の保持、自立支援をケアの基本とし利用者が主体的な生活が送れるよう努力するとともに地域に信頼される施設を目指します。

【重点目標】①感染症まん延防止とターミナルケアの充実
②リスクマネジメント体制の強化③人材育成と働きやすい環境づくり④地域社会への貢献⑤医療との連携



5月に開催した【端午の節句茶会】では、職員による和菓子とお抹茶の振る舞いに、ご利用者の皆様の笑顔が溢れていました。心もお腹も満たされ大満足。桜も綺麗ですが…やっぱり「花より団子」ですね。今後も、皆様に喜んでいただけるような食行事に力を入れて行きたいと思います。

たかつぼ

写真：荒川地区の皆さんになじみのある高坪山



デイサービスでは、今年度より機能訓練のひとつとして、ボール体操を始めました。持ちやすく軽くて、弾みやすいといったボールの特徴を活かし、無理

なく楽しく体操しています。これからも新しいものを取り入れながら、生き生きとしたデイサービスを目指して行きたいと思います。



ほんの一部ですがグループホームの日中の様子です。日々のレクリエーションで美声を聴かせてくれたり、パズルや塗り絵を行ったり…かと思いきや、ご飯の下ごしらえ、縫物もお手のもの！野菜作りも行っています。ご利用者様がいつまでも元気に

過ごす事ができる秘密は、実は日々の日中活動にあるのです。



いつもニコニコ♪



ゆり花園



平成28年度の取り組み

施設長 東海林則美

特別養護老人ホーム 《事業方針》

利用される方一人ひとりが自立した生活を送ることができるように「安心」「安全」「快適」な生活援助を心掛けると共に、選ばれる施設を目指します。

《重点目標》

- ① 個別援助の推進
- ② リスクマネジメントで安心した生活を作ります
- ③ 認知症ケアへの取り組み
- ④ 口腔ケアと栄養ケアマネジメントの推進
- ⑤ 在宅生活を支えるサービスの提供

在宅介護支援センター

《事業方針》

住み慣れた地域となじみの関係をいつまでも大切に、またその生活が継続できるよう、支援体制の構築に努めます。

《重点目標》

- ① 地域ニーズの掘り起こしと把握
- ② 社会資源の確保
- ③ 関係機関との協力体制強化

おでかけしてきました



お天気の良い日におでかけしてきました。中継集落ではきれいな「桜」を、寝屋漁港では真っ青な「海」を、一番には外の空気を楽しんできました。すぐ近くにただけなのにもいつもと違う時間。山北には良い所が沢山あることを思い出させてくれます。偶然に知人と会い声をかけられていたご利用者もいらっしゃいました。何とも言えない皆さんの表情が充実感を物語っています。…また来ましょうね。…

端午の節句



ボランティアさんにお手伝い頂き立派な笹団子が出来上がりました。見て下さい、ご利用者の皆さんのこの手つき、年齢の上がった「手」が美しいですね。(この後に皆さんで美味しく頂きました。)



こちらの鯉のぼりもご利用者と職員の共同作業です。パーツを作っている時には分らなかった形も、組み合わせるとあらステキ! こんな可愛い鯉のぼりの出来上がりです。「もう少しで手が届くの」に

ティータイム



こちらのお花はご利用者のご家族が蕾の状態です。こんなに立派な大輪の花を咲かせてくれました。日々ご利用者・職員の目を楽



しませて頂いております。時には足湯につかりながら、時には皆さんと輪になって、ゆったりとした時間が流れる中で



のティータイムもいいですね。穏やかな笑顔が見られています。本当にありがとうございました。

ほろも

平成28年度事業方針について

施設長

田村 浩子

○特別養護老人ホーム

利用者の意向を尊重し、笑顔と尊厳ある暮らしを支援します。また健康で明るく働く職員の働きやすい環境作りに取り組みます。地域の方から選んでいただける信頼されるサービスを提供します。

○地域密着型特別養護老人ホーム

全室個室の特別養護老人ホームとして、ユニットケアを推進します。一人ひとりの生活習慣や好みを尊重し、今までの暮らしが継続できるよう支援します。

○デイサービスセンター

利用者や家族の希望により、可能な限り在宅生活できるように支援します。障害が重くなっても在宅での生活が続けられるよう、中重度者を支えるための体制を強化します。

○在宅介護支援センター

施設が有する機能を地域に還元します。

○居宅介護支援

在宅生活継続のため、ICFの視点や成年後見制度利用促進も含めた質の高いケアマネジメントを展開します。

○高齢者生活福祉センター

住み慣れた地域で安心して、健康で明るい生活が送れるよう支援します。村上市と密接に連携を図りながら入居者のニーズに合わせた援助内容やサービスの向上等、適切な運営管理にあたります。

地域密着型特別養護老人ホーム



観桜会に行ってきた。天気も良かったので寝かされている方もいれば、花よりお酒の方もいらっしゃる。今後も、季節を感じて頂けるようにしていきたいです。



喫茶

毎月利用者様が集まって、お茶会を行っています。今回は仮装して自慢のものを披露し、皆様を楽しませてくれた利用者様もおられました。



地域密着では、地域との交流を大切にしています。今回は、三面小学校の太鼓演奏や運動会の見学、館腰保育園の出し物を披露して頂き、利用者様もとても喜ばれていました。皆様の一生懸命な姿を見て、ご利用者様も元気をもらっています。

居宅介護支援事業所 羽衣



4名の介護支援専門員が勤務しております。住み慣れた地域、思い出のあるご自宅で安心して暮らせるようにご本人、ご家族の想いを大切に支援させていただきます。

リハビリ・口腔ケア

理学療法士が定期的に来園し、体操や個別に機能訓練を行います。



歯科衛生士が、お口の状態をチェックします。



デイサービス

おやつ作り

レクリエーション中のおしゃべりも楽しみの一つです。



制作活動



四月に異動してまいりました余語寛之（よごひろゆき）です。皆様に楽しんで過ごして頂けるようなアクティビティを用意して、年中無休でお待ちしております！





題字: 近トモエ 様

事業方針

利用者一人ひとりの尊厳を大切に生活支援を基本に個別の生活ニーズ把握に努めるとともに、ご家族との連携を大切にしながら個別ケアの推進に努めます。また、地域との交流を継続し、必要とされる施設づくりを目指します。

重点目標

- ①利用者満足に則したサービス提供。
- ②「食」や「温泉」を活用した健康の保持・増進。
- ③安全確保と防災対策の強化。
- ④地域交流の充実と地域貢献活動の推進。

動物ふれあい活動



関川村民謡友の会訪問



関川村緑の少年団からプランター寄贈



バケツ田んぼの田植え



世代交流さつま芋苗植え



さつき園

特別養護老人ホームさつき園

《事業方針》

介護保険法の基本理念である「尊厳の保持」と「自立支援」をケアの基本とし、利用者が健康で安らぎのある主体的生活が送れるよう支援を行います。

また、家族会や地域住民との連携を強化し、地域から信頼される施設運営を目指します。

《重点目標》

- ① 個別ケアの推進
- ② 認知症ケアの充実
- ③ リスクマネジメントの強化
- ④ 職員の資質向上
- ⑤ 食生活によるQOLの向上
- ⑥ 介護予防生活支援サービス事業の受託

居宅介護支援事業所さつき園

《事業方針》

特定事業所加算算定事業所として利用者・家族や地域から信頼される事業所を目指します。また、公平・中立な立場で自立支援の視点に立った質の高いケアマネジメントを実践します。

《重点目標》

- ① 質の高いケアマネジメントの実施
- ② 地域包括支援センター等各関係機関との密接な連携
- ③ 関係法令の正しい理解と遵守

観音様供養



茗荷寺の和尚様が来園され、皆さんと供養して頂きました。

宝田明様 慰問



さつきのつどい



ご家族様の奉仕活動を含め、長井町の獅子舞を見て利用者と楽しいひとときを過ごされました。

花見



待ちわびた春を満喫されました。

明るく 楽しく

助けあいながら生活しています。



～その人らしさを大切にしています～

グループホーム まつかぜ

《事業方針》

家庭的で落ち着いた雰囲気の中で生活を送ることにより、認知症の症状の改善や進行防止を図ります。また、認知症ケアに関する専門性の高い職員を養成するため各種研修、講習に参加します。

《重点目標》

- ① 地域行事等への積極的な参加と交流行事の充実
- ② 「なじみの関係」づくりのための信頼関係の構築
- ③ 研修会参加により認知症の知識・技術の習得・向上